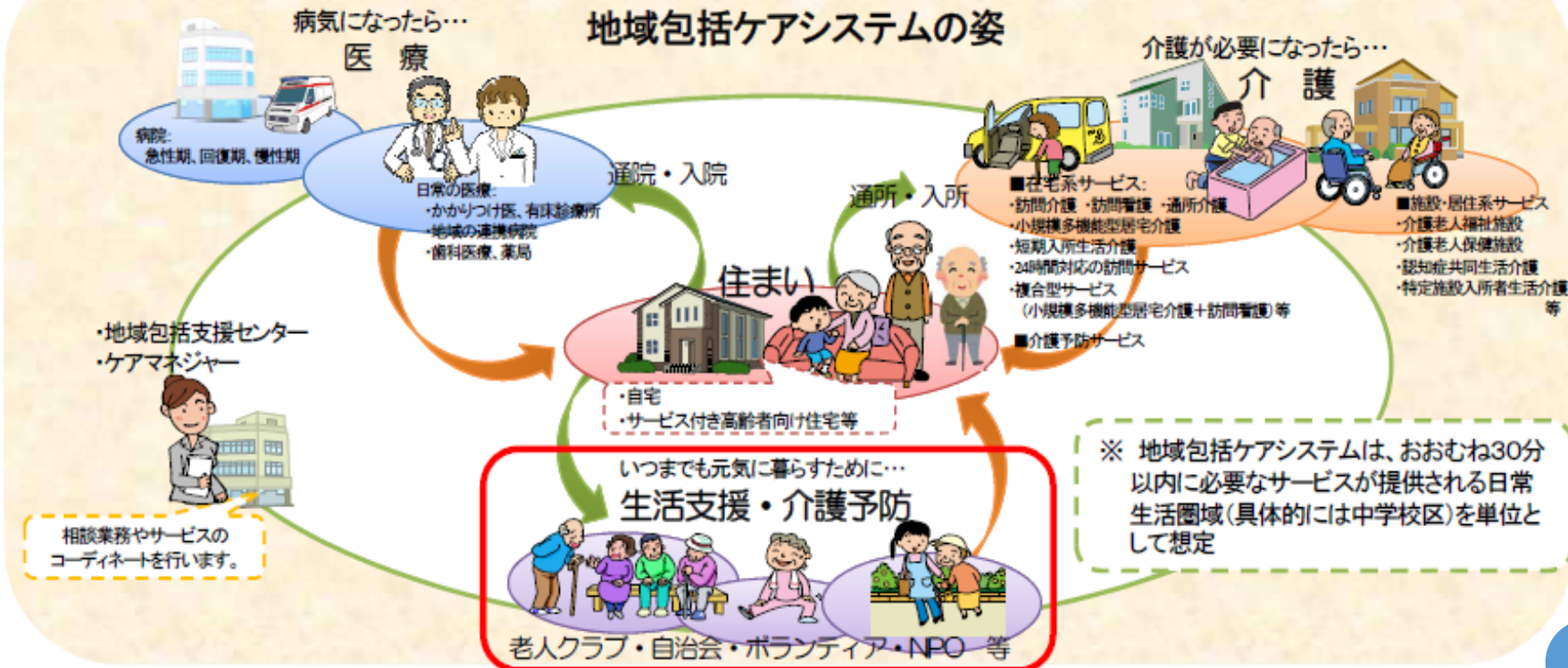


地域包括ケアシステムの構築について

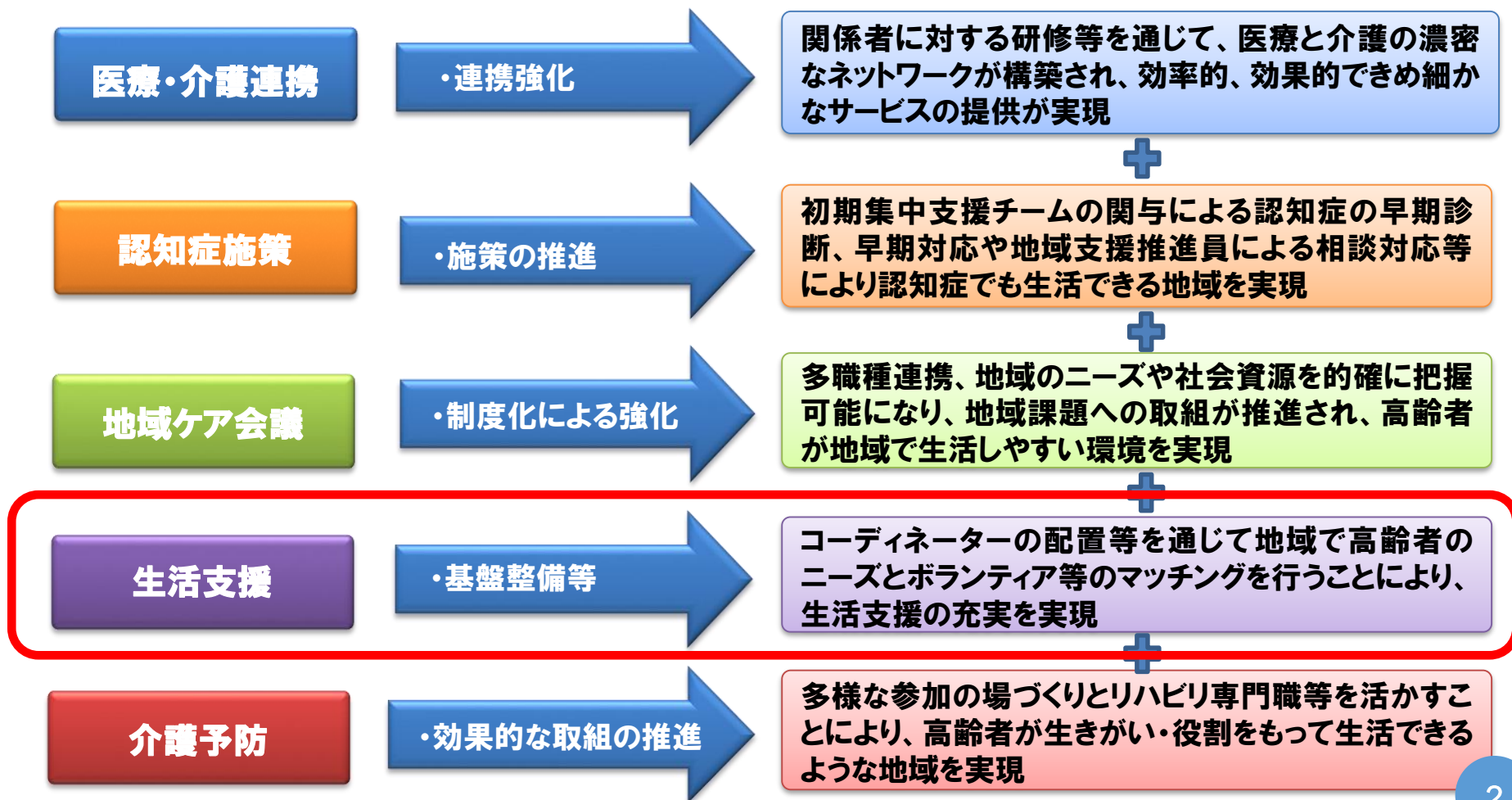
- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**

地域包括ケアシステムの姿



地域包括ケアシステムを構築するための具体的な取り組み

- 地域包括ケア実現のため、介護保険制度の地域支援事業を活用し、以下の取組を充実・強化。
- これらを市町村が中心となって総合的に取り組むことで、地域で高齢者を支える社会が実現。





みまもり
近所の助け合い



生きがいづくり・健康づくり・介護予防



ボランティア活動
町内会・自治会の活動
など

互助

近隣住民や
ボランティア団体の
助け合い

自助

一人ひとりの取組

共助

介護保険制度や
医療保険制度

公助

社会福祉などの
行政サービス

生活支援体制
整備事業は主
にココを充実
させていく



医療サービスの提供



法制度に基づく支援
地域づくり支援
地域マネジメント
など



介護サービスの提供

など